

当日配付用

国際安全保障学会

第9回定例研究会

2017年4月22日（土曜日） 13時10分～17時40分

青山学院大学（青山キャンパス）

総研ビル（14号館） 11階 第19会議室

最寄り駅からのアクセス地図：<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>

キャンパスマップ：<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>

* 本プログラム末尾もご参照ください。

【ご注意】

- ・会場の位置については、上のキャンパスマップ／アクセス地図で必ず事前にご確認下さい。
（当日は、主要なゲートに案内を出す予定ですが、それがなくとも会場に到着できるようにして下さい。）
- ・小休憩は1回だけになります。飲み物等は、事前に購入してお持ち込みになることをお勧めいたします。

受付開始：12時40分

開会：13時10分

開会の言葉 国際安全保障学会理事・定例研究会小委員会委員長
阪田恭代（神田外語大学教授） [＊総合司会兼セッション司会担当]

会長挨拶 国際安全保障学会会長
高木誠一郎（日本国際問題研究所研究顧問）

セッションⅠ：13時20分～14時10分

研究報告1 「リアリスト理論の科学的妥当性

－進化政治学による部族主義と権力政治の再検証」

報告者 伊藤隆太（慶應義塾大学大学院法学研究科 助教(有期・研究奨励)）

討論者 野口和彦（群馬県立女子大学 教授）

セッションⅡ：14時15分～15時35分

【テーマ 日本の安全保障におけるシビリアンの役割】

研究報告2 「自衛官と文官の協働にみる自衛隊組織の変化

－陸上自衛隊における政策補佐官を事例として」

報告者 池上隆蔵（陸上自衛隊幹部学校 教官）

研究報告3 「南西諸島地域における住民保護のあり方に関する研究

－武力攻撃災害に関わる自治体の役割に焦点をあてて」

報告者 中林啓修（人と防災未来センター研究員）

討論者 安富 淳（(財)平和・安全保障研究所 主任研究員）

【休憩】20分

セッションⅢ：15時55分～16時45分

研究報告4 「米国の国防戦略と沖縄の核兵器」

報告者 河村 洋（政策研究大学院大学 安全保障・国際問題プログラム博士課程）

討論者 武田 悠（神奈川大学非常勤講師、元外交史料館外務事務官）

セッションⅣ：16時50分～17時40分

研究報告5 「米海軍戦略の変化と作戦思考の適用」

報告者 下平拓哉（防衛研究所 主任研究官）

討論者 菊地茂雄（防衛研究所 理論研究部）

閉会

【謝辞】今回の会場は、当学会副会長の土山實男・青山学院大学教授に手配していただきました。ここに謝意を表します。

【第9回定例研究会スタッフ】竹澤理絵会員（総務委員）、小林周会員（総務委員補佐）

レセプションのご案内

研究会終了後、下記の通り、レセプションを開催します。さらなる交流の場となれば幸いです。奮ってご参加下さい。

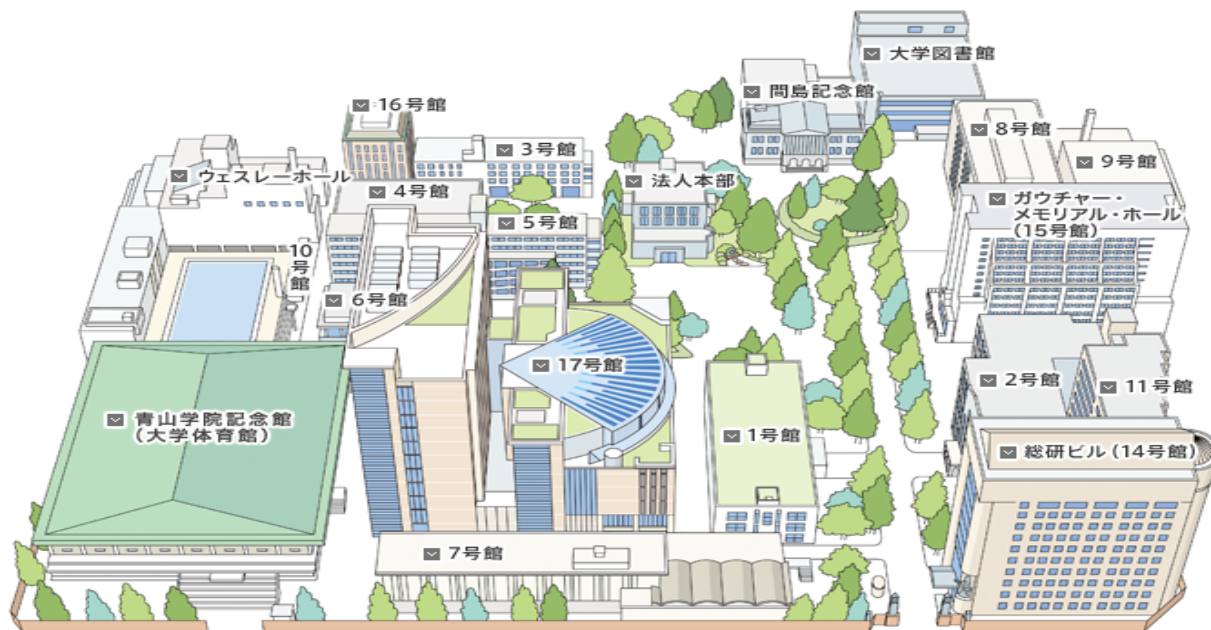
日時：4月22日（土）研究会終了後、18:00-20:00

場所：アイビーホール(IVY HALL)（青学会館）（表参道）「フィリア」

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷4丁目4番25号 tel. 03-3409-8187

会費：会費につきましては、これまで同様、院生・若手の会員（常勤職についていない方）への優遇措置を考えております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。おおむね、一般3000-3500円、院生・若手2000円程度を予定しています。

●研究会会場（青山学院大学 総研ビル）（青山キャンパスマップ）



正門

●レセプション会場（IVY HALL）



【メモ】